

3つの精神疾患 入院と外来の受療率 平成23年 患者調査より

3つの精神疾患 入院と外来の受療率		入院受療率	外来受療率	入院／外来	病院外来	診療所外来	病院外来／ 診療所外来
統合失調症	全国	139	48	1.78	36	13	2.77
	東京	101	32	3.16	22	10	2.2
気分障害	全国	23	59	38.9	24	36	0.67
	東京	16	52	0.31	20	32	0.63
神経症性障害	全国	4	38	0.10	13	25	0.52
	東京	4	26	0.15	13	13	1.0

統合失調症

東京都の入院受療率は全国平均より顕著に低い。これは東京都民の入院先が、都内施設が17.3千人、都外施設が5.9千人で、約4人に1人が、都外施設であることが関係しているだろう。

外来受療率も全国平均と比べると低い。入院先の1／4が都外ということが関係しているだろう。

外来受療率の病院外来/診療所外来を見ると、全国平均よりも少ない。つまり診療所外来の比重が全国平均よりも大きい。

気分障害

気分障害の入院受療率はどこの都道府県でも統合失調症に比べて5分の1～7分の1である。

東京都の入院受療率、外来受療率は共に全国より低い。外来受療率の病院外来/診療所外来は0.63で、全国平均よりも少ない。つまり診療所外来の比重が全国平均よりも大きい。

神経症性障害

神経症性障害の入院受療率はどこの都道府県でも統合失調症に比べて30分の1～50分の1である。

東京都の入院受療率は全国とほぼ同じである。しかし、外来受療率は全国平均より低い。外来受療率の病院外来/診療所外来1.0で、全国平均よりも大きい。つまり、神経症性障害については、統合失調症や気分障害と違って、診療所外来の比重が全国平均よりも小さい。

東京都の病院外来受療率は、精神科病院の外来受療率ではない。東京都では、単科精神科病院65箇所に対して、大学病院など精神科外来を持つ病院が50箇所ある。このことから、東京都の病院外来受療率の半数は大学病院、総合病院などによるものである。